

「日頃の準備行動」、「本番での対応」、「まずい対応」について箇条書きに示しています。

本番での対応に関し、

- ① テーマが曖昧な場合、具体的に何を討論するか確認し合う。
- ② 全体の時間配分を決め、予備の時間もとっておく。
- ③ ゆっくりと大きな声で、身振り手振りを交えて笑顔で話す。
- ④ 話すときは最初に結論、理由を添える。
- ⑤ 他人の意見に耳を傾ける。発言に対して質問をするとよい。
- ⑥ 意見を出していない人に発言を促す。
- ⑦ 出た意見を比べるなど討論の方向性を整理する。
- ⑧ 異論がある人にも納得してもらえ結論をまとめる。

その他、記事の小見出しには、

発言は論理的に。 得意な役割把握（司会？書記？）。

とあり、日頃から意識しておくことが大事です。



毎週火曜掲載

グループ討論 どう臨む

与えられたテーマについて話し合い、結論をまとめる「グループ討論」を選択に取り入れる企業が増えていきます。どのように臨めばよいのでしょうか。
(石塚公康)



グループ討論は、エントリーシートによる書類選考や適性検査の後、面接する学生を絞り込むために行われるのが一般的です。1グループは5〜8人程度。制限時間は15分〜1時間と企業によって幅が

傾聴を心がけ 結論から話す

あり、出題テーマも様々ですが、積極的に発言し、メンバーと協力して結論を導けるか、対人能力が主に問われます。東京外国語大学（東京都府中市）が2月5日に開いた対策セミナーでは、グループに

分かれた学生たちが「社会人に必要な資質」「社員のモチベーションアップ策」などをテーマに討論しました。3年生の女子は「まだうまくできない。もっと練習したい」と話していました。

同大の関仁・チーフキャリアアドバイザーは「場数を踏むこと。友人ばかりでなく、初対面の人を交えて練習するとよい」と助言します。同大は2年前から、都内の他大との合同練習も行っています。本番では、「明るく大きな声で発言する一方で、周りの意見を聞く傾聴力も大切」と関さん。自分だけ長々と話し、主張を通そうとするのは禁物

同大の関仁・チーフキャリアアドバイザーは「場数を踏むこと。友人ばかりでなく、初対面の人を交えて練習するとよい」と助言します。同大は2年前から、都内の他大との合同練習も行っています。本番では、「明るく大きな声で発言する一方で、周りの意見を聞く傾聴力も大切」と関さん。自分だけ長々と話し、主張を通そうとするのは禁物



グループ討論の練習をする学生たち（東京外大で）

自分の役割を見極める訓練もしておくといいでしょう。次の選考に進めるのは、1グループ1人といった厳しい絞り込みを行う企業もありま。志望する企業が、どんなやり方で、グループ討論を行う可能性があるのか、OB訪問や大学のキャリアセンターの情報を通じて確認しておいてください。

- 他大生ら初対面の人を交えて練習するとよい
- 新聞や本を読んで知識をつけておく
- 志望業界に関するニュースをチェックする
- 過去の出題例をOB訪問などで情報収集する
- 論理的に話す習慣をつける
- 他人と違う視点で考える習慣をつける
- 司会、書記など、自分ができそうな役割を考えておく

- テーマがあいまいな場合、具体的に何を討論するか確認し合う
- 全体の時間配分を決め、予備の時間もとっておく
- ゆっくり大きな声で、身振り手振りを交えて笑顔で話す
- 話す時は最初に結論、理由を添える
- 他人の意見に耳を傾ける。発言に対して質問するとよい
- 意見を出していない人に発言を促す
- 出た意見を比べるなど討論の方向性を整理する
- 異論がある人にも納得してもらえ結論をまとめる

- 学生言葉を使う。敬語や丁寧語が使えない
- 服装がだらしない
- 制限時間を守らない
- 雑談のようなやりとりになる
- 自分ばかり話す。だらだら話す
- 他人の意見を否定する。無視する
- メモばかり見て、うつむきながら話す
- 強引な司会進行をする



(専門家のアドバイスをもとに作成)

です。反論したい時は、「なるほど。しかし〇〇と思います」と切り返すと、建設的な討論になるそうです。発言は論理的に
就職活動中の学生に個別指導を行う「就活コーチ」を運営する広瀬泰幸代表は、「発言をする際は、論理的に話すことが重要」と説明します。「私は〇〇と思います。なぜなら〇〇だから」と、先に結論を述べた後に理由を添えると説得力が増します。テーマによっては、自分の

得意な役割把握

討論では、司会や書記、時間の経過を知らせるタイムキーパー役を決めることもあります。日頃の練習を通じて、自分の得意な役割を把握しておきましょう。メンバーに応じて自分の役割を見極める訓練もしておくといいでしょう。